

(様式3)

## 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成24年7月19日

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0870101797		
法人名	原口商事株式会社		
事業所名	グループホーム 暖	ユニット名	ぼたん
所在地	〒310-0914 茨城県水戸市小吹町267-87		
自己評価作成日	平成23年12月20日	評価結果 市町村受理日	平成24年7月17日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報 リンク先URL	<a href="http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=0870101797&amp;SCD=320&amp;PCD=08">http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=0870101797&amp;SCD=320&amp;PCD=08</a>
-----------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成24年2月10日	評価確定日	平成24年7月2日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

利用者様のその人らしさを大切にし、笑顔で楽しい日々を送れるよう支援しております。
------------------------------------------

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>事業所は水戸市植物公園の近くに位置し、周囲は畑や林、神社など自然環境に恵まれおり、利用者の日常の散歩コースとなっている。</p> <p>ホームヘルパー2級養成講座の実習生を受け入れ、一人の実習生が終了後希望して職員となっている。</p> <p>代表者は常に利用者の暮らし方に注意を払い、利用者一人ひとりに声をかけて気分を盛り上げている。</p> <p>管理者は職員と協働して楽しく業務がこなせるよう配慮するほか、市や県の担当部署を訪問して運営上の相談をしている。</p> <p>管理者は全職員を励まして業務を遂行しており、職員が業務上で困っている点やアイデアなどを一緒に考え、安心して働ける職場環境づくりに努めている。</p> <p>職員は利用者一人ひとりに話しかけ、思いにそった支援をして利用者からの信頼を得ている。</p>
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	毎週月曜日の申し送り時に出勤スタッフ全員で唱和している。また、ユニットに理念を張り出し日々スタッフが目にできるようにしている。	地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所の理念をつくり、理念を玄関や台所の目につく場所に掲示するとともに、職員は毎週月曜日の申し送り時に全員で理念を唱和するなど、共有して実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	運営推進会議などの機会に地域の行事等の情報を頂き利用者と一緒に参加し交流を図っている。	利用者は職員と一緒に近くの神社で行われる盆踊りに参加しており、車いす使用の利用者も音楽に合わせて手を動かして楽しんでいる。 利用者と職員は町内の清掃活動に参加し、町内活動の一端を担っている。 毎年5月に近くの神社で餅つきを実施し、地域の人々や利用者の家族等に参加を呼びかけて利用者と一緒楽しんでいる。 地域の人々から新鮮な野菜のお裾分けがあるなど、日常的に交流している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げていく認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の方々が気軽に施設見学を行えるように餅つき大会やバザーなど催している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に一度会議を行い報告を行っている。また、その時々施設の課題などを持ち出し意見交換を行いサービス向上につながるよう努めている。	運営推進会議は2ヶ月に1回開催し、市職員をはじめ民生委員、職員などが出席している。 会議では運営状況を報告するとともに委員から助言を得ており、出た意見等は記録して後日職員会議で検討し、サービスの質の向上に活かしている。 運営推進会議に家族等の参加を得るまでには至っていない。	家族等の意見を積極的に取り入れるため、家族等に運営推進会議への参加を促すとともに、欠席する場合は事前に議題を知らせ意見を出してもらい、運営推進会議で家族等の意見についても話し合えるように工夫することを提案する。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携  市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市で行っている無料相談会など来ていただき今後のケアにつながるよう協力している。	管理者は日頃から市担当者に運営上の相談をしたり、空き情報など事業所の現状を知らせており、連絡を密に取りながら協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践  代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	定期的に内・外研修へ参加し身体拘束について正しく理解できるようにしている。 日々のケアの中で身体拘束を行わないよう十分に配慮している。	管理者及び全職員は身体拘束の弊害について定期的に研修を受講し、禁止の対象となる身体拘束の具体的な行為を正しく理解しているが、事業所は車の往来が激しい道路に面しているため、家族等の希望により玄関を施錠している。 万一利用者が外に出してしまった場合には職員は利用者の気が済むまで一緒に歩いている。	現在は断りなく玄関から出してしまう利用者はいないことを家族等に説明し、玄関の施錠についてよく話し合い、夜間や早朝などを除いて玄関を施錠しなくて済むよう取り組むことを期待する。
7		○虐待の防止の徹底  管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	外部研修へ参加し学んでいる。 施設内でも虐待がないよう注意している。 傾向がある場合は面談を行い未然に防げるよう努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	後見人制度を実際に利用している利用者がいらっしゃるので活用できていると考えているが、制度に関して理解できているとは言えないので理解できるよう学ぶ機会を増やしていきたい。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の際は施設長、ケアマネを交えてご家族や利用者様に理解していただけるように努めている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議、ケアカンファなどにご家族にも参加していただき要望を出していただける環境を整えており、ご意見を反映できるよう施設全体で取り組んでいる。	利用者から要望が出た場合は全職員で検討し、利用者の思いにそえるよう支援するとともに運営に反映させている。 年1回無記名の家族アンケートを実施し、出た意見等を記録するとともに全職員で話し合い運営に活かしている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月リーダー会議を行い職員の意見をまとめ行っている。11月よりユニット会議を毎月行うようになったのでより反映しやすい環境になった。	代表者や管理者は日常的に職員一人ひとりから話を聞いているほか、月1回開催する職員会議で発言する機会を設けたり、個別に職員ヒヤリングを実施して職員の話聞き、出た意見等を運営に反映させている。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	毎年職員一人一人に自己目標を設定してもらい時々目標に向かって努力しているのか、或は努力できるように面談を行い評価につなげている。 外部の研修など意欲的に参加できるように研修予定を公表している。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	新人は入社時に新人研修を行っている。 スタッフの個々の能力向上の為に内外の研修に参加を進めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	グループホーム協議会などのネットワークに積極的に参加しサービスの向上につなげている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人とよく会話をし何が必要なのか、安心なのかスタッフ全員で共有できるように記録に残し関係を築けるよう努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ケアカンファを家族を含めて行うことで要望、不安などを拝聴し関係を築けるよう努めているが、なかなかご参加頂けない家族もいらっしゃるので引き続きご参加頂けるようこちらから伝え続けるよう努めていく。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	サービスを開始する段階で何が一番必要なのか十分検討し支援を提供できるようにしている。また、他サービスが必要なときは柔軟に対応できるよう配慮している。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	普段の生活の中で介護される立場ではなく、一人の人生の先輩、時にはスタッフの親としてその方が望んでと思われる関係を常識の範囲内で築けるよう配慮している。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	本人と家族の絆を大切にし共に支えられるような関係を築いていけるように努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの場所がある場合は、継続して通うことができるようにし、馴染みの人にも関係を続けられるよう支援している。	職員は利用者や家族等から話を聴き利用者の馴染みの場所や人との関係を把握しており、利用者と一緒に元の住まいを訪れて近所の知人宅に立ち寄りお茶をご馳走になるなど、関係が途切れないよう支援に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	関係を把握し、良好な関係を築けるようスタッフが間にはいれるように努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み  サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	本人、家族より相談があれば必要に応じて支援に努めている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	一人一人の思い思いの生活の場を提供できるように努めている。	職員は利用者一人ひとりと会話をして生活上の希望や意向の把握に努め、記録に残すとともに職員で共有している。 意向の把握が困難な利用者の場合はしぐさや表情を観察し職員で話し合ったり、家族等に相談して利用者本意に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人や家族又は、他サービス提供者より詳しくきき内容の把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日の生活の様子を記録に残し把握できるように努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	担当のスタッフを決め、そのスタッフが中心になって家族を含めた会議を行い現状、本人にとって必要なケアを計画できるようにしている。	モニタリングは6ヶ月毎に実施している。 介護計画は長期目標は1年毎、短期目標は6ヶ月毎に見直すとともに、利用者の心身の状態に変化があった場合は、家族等など必要な関係者と話し合い、現状に即した介護計画に見直している。	高齢の利用者の場合は心身の状態を常に把握することが重要であるため、モニタリングは毎月実施することを期待する。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別記録を試行錯誤しながらツールから見直し当施設に適しかつスタッフも共有しやすいような記録を日々検討し活かすことができるようにしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	スタッフ一人一人からの様々な意見を取り入れ柔軟にサービスを提供できるように努めている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域にある資源をなるべく把握し日々の生活の中に取り入れられるようにしている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人希望のかかりつけ医がいる場合は調整し支援し希望がない場合も適切な医療が受けられるようにしている。	利用者が希望するかかりつけ医に受診する場合は職員が付き添い、適切な医療が受けられるように支援をしている。 月2回協力医療機関の医師による訪問診療や週1回訪問看護ステーションの看護師による健康チェックがあるほか、年1回歯科医師が無料で訪問診療に訪れている。 受診結果は支援経過に記録するとともに、2ヶ月に1回発行する事業所便りと一緒に家族等に報告している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護職員は配置にいないので他ユニットの看護職員に相談している。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院した際、情報の交換、相談をみつにするよう心がけている。家族がいる場合は、家族を通じて情報交換を行うようにしている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ターミナルケアについて早期の段階から本人の希望や、家族の希望を聞き、当施設の方針など十分に説明している。	重度化した場合は家族等や医療機関、職員など必要な関係者と話し合い支援をしている。 医師が回復の見込みがあると判断した場合は家族等と話し合い、療養型病院での転院治療を勧めている。 終末期については家族等を交えて十分に話し合い、事業所でできることとできないことを説明し、書面で看取り介護についての同意を得るとともに、医療機関と連携してチームで支援に取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	マニュアルを作成し周知をしている。また、外部研修など参加し訓練を行っている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年二回の訓練の中に取り入れ、避難場所をチェックしている。地域の避難場所も確認している。	避難訓練は年に2回実施しており、そのうち1回は夜間想定での避難訓練としている。 訓練後は全職員で反省会を開催し、訓練時の進行状態や明らかになった課題を話し合うとともに記録に残し、次回の訓練に活かしている。 避難訓練に地域の人々の参加を得るまでには至っていない。 飲料水やレトルト食品、毛布を一人1枚ずつ備蓄するとともに、備蓄明細表を作成している。	運営推進会議で話し合い、民生委員などを通して避難訓練や災害時に地域の人々の協力が得られるよう働きかけてもらうことを期待する。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	接遇基礎トレーニングの研修などに参加し人格の尊重とプライバシーの確保に努めている。	職員は利用者に丁寧に話しかけるなど利用者一人ひとりの人格を尊重した対応に努めている。 排泄の誘導は周囲の利用者に気付かれないうさりげなく声かけをしている。 利用者の居室や記録を開示する必要がある場合は利用者や家族等から許可を得ている。 個人情報に関する書類は事務所内の鍵のかかるロッカーに保管し、情報漏洩に留意している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活の様々な場面にて、本人の希望を聞きその上で、自分で決定できるような環境に努めている。			
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人の生活ペースを維持できるように支援している。又、希望が訴えられない方には、今までの生活リズムを大切にその人らしい暮らしを提供できるように努めている。			
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	本人が好む色や服装など十分に配慮し、本人好きな格好ができるよう支援している。			

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	現在、利用者の中で食事の準備など一緒にできる方が少ないので職員が行っているが、中には、食後のテーブル拭きなど役割を持っている方もいるので、出来る範囲で行って頂いている。	利用者はできる範囲でテーブル拭きや下膳などを行っている。 職員は利用者の食べこぼしや嚥下に注意を払うとともに、食事が楽しみなものとなるようさりげなく食事介助をしている。 行事や季節に合わせて赤飯やおはぎ、栗ご飯などを提供している。 利用者に食事のアンケートを行い、一番希望の多かった寿司を食べに外出している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	主治医とも相談し水分、食事摂取の目安を確認している。状態に応じて可能なかぎり習慣に応じた支援を提供している。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後に全員で口腔ケアに取り組んでいる、自分でできる方はご自分で、出来ない方はスタッフにて対応している。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	毎日の記録から、排泄のバイオリズムを全職員で共有し、声掛けやトイレ誘導を行っている。	利用者の殆どはおむつを使用しているが、職員は利用者が昼間はおむつを使用しなくても済むよう排泄チェック表を確認しながら適切に声をかけ、排泄の自立に向けた支援をしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘になりやすい方の原因を日々の記録や服薬している薬の副作用などから考え便秘になりにくいような対応を心掛け対応している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴は基本的に週3回になっているが、希望に合わせていつでも入れるような環境を整えている。	基本的に入浴は週3回と決まっており、職員は利用者が希望する時間に入浴ができるよう支援している。 入浴を拒む利用者には無理強いせずタイミングを見計って声かけをし、入浴ができるよう支援している。 どうしても入りたくない利用者には清拭や足浴などで対応している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	生活習慣を把握し、状態を見ながら休息、入眠できるように支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬剤の作用と副作用について一覧表に記し周知を図っており、症状の変化も注意して見ている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	本人が出来ること、出来ないことを見極め楽しみごとや役割を支援している。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	本人の安全を十分に配慮し、可能な限り支援できるようにしている。	職員は週2回事業所の買い出しに合わせて利用者と一緒に出かけ、必要な買い物ができるよう支援している。 春や秋の開花時に合わせて近隣の水戸植物公園を散策したり、愛宕山や偕楽園などに出かけている。 年に1回程度ドライブを兼ねて大洗水族館などに出かけている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	スタッフは、理解できているが現金紛失などの訴えなど多発したため家族に許可を頂き必要な時に所持できるよう支援を行っている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	自由に電話をつかえるようにしている。又、毎年家族や友人からの年賀状を楽しみにしている利用者がいる。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用の空間には季節に合った植物を置き、季節感を味わうことができる。又、玄関にはソファが置いてあり、思い思いの場所で過ごすことができる。	事業所内は居室を含めて温度調節をこまめに行い、利用者が快適に過ごせるよう配慮している。 台所は家庭的な低めのカウンターを設え、小柄な利用者でも利用できるよう配慮している。 トイレは車椅子対応の広さがあり、入口には手すりをつけて安全に配慮している。 風呂は一人ずつゆったり入れる広さがあり、車いす使用の利用者も安心して入れるよう専用の浴用椅子を用意している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	施設に中央ホールがあるので思い思い過ごして頂けるように環境設備を整えている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室にはベッド、洗面台、エアコンが備え付けてある他、本人の馴染みのある家具を置いたり、写真を飾っている。	居室にはエアコンや洗面台、クローゼット、照明器具、カーテンを備え付けている。 利用者は家族等と相談して以前の住まいで使用していたタンスやテレビ、ラジカセ、時計、人形、家族等の写真、位牌、観葉植物などを自由に持ち込み、安心して居心地よく暮らせるように工夫をしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	各設備に見やすく名称を書きどこに何があるのかわかりやすくしている。スタッフも利用者の動きに合わせて安全を確保できるように工夫、努力している。		

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者の <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいの <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいの <input type="radio"/> 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/> 1, 毎日ある <input type="radio"/> 2, 数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3, たまにある <input type="radio"/> 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族と <input type="radio"/> 2, 家族の2/3くらいと <input type="radio"/> 3, 家族の1/3くらいと <input type="radio"/> 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ毎日のように <input type="checkbox"/> 2, 数日に1回程度ある <input checked="" type="checkbox"/> 3, たまに <input type="checkbox"/> 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの広がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="checkbox"/> 1, 大いに増えている <input type="checkbox"/> 2, 少しずつ増えている <input checked="" type="checkbox"/> 3, あまり増えていない <input type="checkbox"/> 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input checked="" type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての職員が <input type="checkbox"/> 2, 職員の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 職員の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input checked="" type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての家族等が <input type="checkbox"/> 2, 家族等の2/3くらいが <input checked="" type="checkbox"/> 3, 家族等の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない

(様式4)

## 目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホーム暖

作成日 平成24年7月15日

### 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	26	現在モニタリングを6ヶ月ごとに行なっているが、高齢者の場合は毎月が望ましい。	モニタリングを毎月行い、利用者の状態を把握する。	毎月のユニット会議の際に、利用者全員のモニタリングを行い、職員全員が利用者の状態を共通理解できるようにする。	1ヶ月
2	4	運営推進会議に家族等の出席をお願いしているが参加を得るまでに至っていない。	家族等が会議に出席し、家族の意見を話し合える推進会議にする	会議参加の手紙に意見等を書いていただく用紙を同封し、不参加の場合はそちらを送付していただき、会議に反映させる。議事録を送付する。	6ヶ月
3	6	利用者が一人で外へ行ってしまふ為、現在玄関の鍵を施錠している。	外に出なくても満足できるような生活を提供出来るようにする。	外出の機会を多く作る。希望があれば個別に対応したり、こちらから声掛けをして誘うなど、一人で外へ出なくても満足できるようにする。	6ヶ月
4	35	避難訓練を行なう際、地域の人々の参加を得るまでに至っていない。	年に1度地域の方も参加できるような訓練を行なう。	運営推進会議で、民生委員などを通して、避難訓練や災害時に地域の人々の協力が得られるよう働きかける。地域の人々が参加できるような訓練を計画実施する	12ヶ月
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。